



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

94.9.22 No.4066

— 貨物7000人体制を許すな —

12.3ダイヤ改動乗勤改悪を許さず 闘おう

総合鉄道部設置拡大による職場の統廃合

支社	名称	関係業務機関
東北	秋田総合鉄道部	秋田貨物駅、秋田機関区、秋田保全区
関東	篠ノ井総合鉄道部	篠ノ井機関区、篠ノ井保全区
関西	姫路総合鉄道部	姫路貨物駅、姫路機関区、梅田保全区姫路派出
	金沢総合鉄道部	金沢駅、金沢機関区(注1)、金沢保全区
	厚狭総合鉄道部	宇部港駅、厚狭機関区、新南陽保全区宇部港派出
九州	福岡総合鉄道部	福岡(夕)駅、福岡港駅、福岡機関区(注2)、博多保全区

(注1)機関区の業務の一部は富山、敦賀両機関区に移管される。
(注2)福岡機関区は直方機関区が廃止され、統合になる。

●列車本数 (本)

	現行	改正	比較
コンテナ	329 (168)	370 (169)	+ 41 (+ 1)
車扱	555 (95)	519 (92)	△ 36 (△ 3)
計 (地区亘り)	884 (263)	889 (261)	+ 5 (△ 2)

●列車の直行化について(地区亘り) (本)

	現行	改正	比較
直行列車	86	109	+ 23
解結作業 1 駅	39	32	△ 7
解結作業 2 駅	26	11	△ 15
解結作業 3 駅以上	17	17	—
計	168	169	+ 1

JR貨物本社は、九月九日、一二月ダイヤ改について提案を行った。この内容は、七月に説明された「中長期計画の骨子(案)」の内容を盛り込み、「八〇〇〇人体制を目指す」「緊急三カ年計画」の初年度のダイヤ改として、また六年後の「鉄道部門七〇〇〇人体制」へむけた貨物大合理化Ⅱ分割・民営化の見直しにつながるものである。合理化のための時短、乗勤改悪を許さず、全力で闘おう!

と新商品の導入

- ・紙列車のコンテナ化
- ・多目的コンテナの開発導入
- ・設備投資一約一〇〇億円
- ・コンテナ新製三〇〇〇個
- ・コンテナ貨車新製四〇〇両
- ・DF電気式ディーゼル機関車 新製三両

2. 営業面での改善

- (1) 異常時対応の迅速化
- (2) 販売制度の改善

3. 業務運営の効率化

- ・機械化
- ・着発線荷役の拡大

4. 各支社で業務運営の効率化を推進

などとなっている。

総合鉄道部拡大を提案

九二年、浜松で始まった総合鉄道部(駅・機関区・保全区などを統合)は、昨年度に高利山・静岡・米子・熊本と四箇所設置されたが、今年度は新たに六箇所の設置拡大が提案された。関東支社関係では今回はじめて「篠ノ井総合鉄道部」の設置が提案されている。(別表参照のこと。)

貨物関東支社も一二月ダイヤ改を提案

貨物関東支社は、九月一三日、一二月ダイヤ改の計画を提案した。計画の内容は先に提案された本社計画に沿ったものだが、フロント業務への「臨時雇用員」の拡大や「五五才出向」にむけた部外委託の拡大などが図られている。

定期列車設定キロ

●設定列車キロ (千キロ)

	現行	改正	比較
コンテナ	180.9	187.0	+ 6.1
車扱	70.7	65.4	△ 5.3
計	251.6	252.4	+ 0.8

また管理体制の見直しでは、佐倉機関区での「当直助役の日動化(現行一徹)」などが計画されている。

なお細部の労働条件、要員等は九月二十九日に提案される。